

## 仔犬の入手は慎重に！

動物病院にワクチン接種などの目的で来られた仔犬の飼い主さんたちに聞く限りでは、最近では最も一般的な犬の入手法は、ペットショップやブリーダーさんから入手するという方法のようです。

ところで**生き物の売り買いというのはさまざまな問題を含んでいます**。犬をお金で買うわけですが、生き物を買うということと、物をお金で買うことは全く違った行為である事を忘れてはいけません。

2-3日前のことです。小さな女の子を連れて若いお母さんが、2ヶ月令のゴールドレトリバーの仔犬が食欲がないと言って病院に連れて来られました。

見ると仔犬はガリガリに痩せて、全く元気がありません。体格も小さく、どう見たって1ヶ月令そこそこの大きさです。聞けば通信販売で、安かったから仔犬も見ずに電話一本で買ったのだそうです。遠くのブリーダーさんから飛行機で昨日送られて来たとのこと.....

仔犬はこのお宅にやってきたばかりなのでここに来るまでにすでにあまり良い状態ではなかったようです。その上に、輸送や環境の変化によるストレスが加わり、体調をくずしてしまったのでしょう。しかも飼い主さんは仔犬の様子に無頓着で、仔犬がじっとしているのは元気がないのではなく、おとなしいからだと思われていたようでした。

仔犬を繁殖したり、販売したりする仕事はコストがかかる上、生き物の世話には休みもありません。しかも難産や病気などのリスクが常につきまといまいます。本当に好きでなければ出来ない仕事だと思えます。

そんなブリーダーさんの中にも、犬を生き物ではなく物と考えてしまっている方がいるのは残念なことです。同様に仔犬を物として買ってしまふ飼い主さんがいることも問題です。

仔犬を買う側がもっと正しい知識を持って、思慮深く仔犬を入手するようになればそのような業者は自然淘汰されていくはず。信頼できるペットショップ

の方やブリーダーさんを見つけ、よく相談してから仔犬を入手しましょう。

そして仔犬は生き物ですからたとえ同じ犬種であっても電化製品のように均一の品質というわけにはいきません。従って必ずしも安ければ得というわけではありませんし、値段の高い仔犬がすばらしい成犬に育つとも限りません。

また生き物であれば病気になることもありますし、一年間保証書付きと言うわけにもいきません。そして何よりも今後十数年間家族の一員として我々と暮らして行くわけですから、**仔犬を飼う我々の方が事前にきちんと犬のことを勉強する必要がある**と思います。



このペーパーは株ペット・ペット社が提供する  
PET LOVERS' FORUM (<http://www.pet-vet.or.jp>)で、  
もみの木動物病院 村田香織先生が提供されたものを一部改編して作成しております。

イラスト著作：くぼじょうこ

このペーパーは下記当院のインターネットホームページで24時間無料で取り出せます。また、ホームページには他にも様々な情報が掲載してありますので、ぜひご覧ください。



Copyright (C) 2001 Tatsuya Fukuyama DVM, AFP IKI ISLAND VETERINARY CLINIC.  
Tel 0920-47-6767 Fax 0920-47-0350 e-mail: foffice@bronze.ocn.ne.jp  
<http://www.ikikoku.com/pet.html>